

みみタロウ

日本語版 106号 2014年6月

滋賀県国際協会ボランティアグループ「みみタロウ」
おおつしま 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2F

Tel/Fax: 077-523-5646

E-mail: mimitaro@s-i-a.or.jp

URL: http://www.s-i-a.or.jp

りゅうがく 留学のおみやげは？

滋賀県の外国人留学生数は52カ国(地域)出身の1,239名(2013年度)。大学などでは世界各地からやってきた多くの留学生が学んでいます。今回みみタロウは、ベトナムからの留学生、マイ・チュン・ギアさんにお会いしました。



2年前の4月、ハイノイ大学の2回生を修了し、姉妹交流のある立命館大学に交換留学生として来日しました。大学では情報理工学部の研究室に所属し、ソフトウェアやインターネットサービスの開発などを勉強。多くを学んで卒業しました。そしておそらくこの記事は、帰国後ベトナムで読むことになると思います。言葉も文化も異なる中での生活は苦労もありましたが、それを大きく上回る貴重な体験と喜びがありました。そして日本の生活や文化に触れ、「日本」を肌身で体感したことが、自分にとって最も大切なことになったと思います。

日本の生活はとても快適です。様々な分野の社会システムが非常によく整備されており、中でも目を見張ったのが流通や商業部門のサービスシステム。至る所にコンビニや24時間営業のスーパーがあつて、とても便利ですね。また、ゴミ処理や交通のシステムなどでも学ぶべき点が多くありました。ベトナムは今、10年前とは比較にならないほど猛スピードで発展しています。しかし、例えば交通システム一つとっても、バイクも自転車も車と一緒に車道を走っている祖国と日本とでは大きく異なりますし、ゴミの分別もありません。そのような様々な社会システムの違いを感じたことで、自分が自指すものがより明確になりました。

また、学業以外でも色々と有意義な体験をしました。僕は人との交流が好きで、人の出会いから多くの学ぶことができると考えています。ですので、ベトナム人留学生協会や地域の国際協会のイベントや旅行、ボランティア活動などにできるだけ参加しました。そのような場では、日本人だけでなく他国からの外国人との出会いもあり、様々な国の友人ができて僕の人生の宝となりました。ただ一つ心残りだったのは、できれば日本人とももっと気軽に色々な話ができればよかったですということ。ベトナム人はとても話好きです。隣近所の人たちともすぐに仲良くなつて、おしゃべりに花を咲

かせます。そんな僕たちから見ると、日本人の人はとても内向き。これも日本の文化なのだと思うのですが、知り合いになっても挨拶だけで終わってしまうと、やはり僕たちには少し寂しく感じてしまうんですよ。

ボランティアで小学生にベトナムを紹介する授業をしたことも心に残っています。食べ物や服装や観光地などベトナム文化を紹介したのですが、時々子どもたちは鋭い質問をして僕を驚かせました。ベトナムというと、ベトナム戦争というイメージが強くあって、子どもたちからも戦争についての政治的な難しい質問を受けたこともあります。僕自身は1992年生まれで戦後の平和な時代に育った世代です。ですので、僕が話すことで、戦争だけでなく平和なベトナムの現代の姿も子ども達に知ってもらうことができ、とても嬉しかったです。また、このような機会を通して、日本の子どもたちが教科の勉強以外にも異文化理解のような幅広い勉強やクラブ活動など、様々な活動をしていることを知り、とても良いことだと思いました。今ベトナムの学校では勉強がとても厳しくて、子ども達は勉強ばかりしているのですが、もっと遊んだり、様々な体験ができるれば良いかもしれません。かく言う僕も子供のころから勉強ばかりしていて、小学校の頃の夢は、テレビの影響などもあって、社長になることだったんですよ。今の夢ですか？昔よりも少し現実的になって、日本で学んだソフトウェアの開発をさらに勉強し、ベトナムの社会システムの改善に貢献できればと思っています。そして、できれば何度も日本に来て学び続けることができればいいですね。

サクラの季節には花見、秋には紅葉狩りと、四季折々の自然を楽しむ日本文化に魅了され、いつの間にか食べられなかった刺身も大好きになりました。僕の国、ベトナムの人々は優しく、美しい場所も美味しい食べ物も沢山ありますよ。今度は是非、みなさんがベトナムにいらしてください！

